

心輝け 子どもたち!

名古屋市道德研究会研究発表会 開催
1月28日(水) 教育館にて

テーマ研究部会

学んだことを自分の生き方に生かそうとする気持ちを高める道德教育 - 「明るい心・人生」と「私たちの道德」を効果的組み合わせた指導方法 -

道德の時間に学んだことを自分の生き方に生かすことができるような、効果的な「明るい心・人生」と「私たちの道德」を組み合わせた指導方法について研究を進めました。



家庭との連携型
「明るい心・人生」⇄家庭⇄「私たちの道德」
家庭と学校で、同じ課題を学習することができ、大切なことを家庭と共有することができました。

1時間完了型
「明るい心・人生」+「私たちの道德」
生活を振り返りやすくなり、学んだことを生活場面でも生かす児童の姿が見られるようになりました。

生活場面連携型
「私たちの道德」→生活の振り返り→「明るい心・人生」
生活の振り返りで自分の考えをもつことができ、道德の時間で生き方を深めることができました。

授業づくり部会

魅力あふれる! 道德の授業 - 道德の授業の新たな可能性を模索して -

「導入」から「終末」に至るまで子どもたちの集中力が途切れず、夢中になって「自己の生き方」を考えたいような指導方法の工夫を模索しました。

道德の授業の板書は、縦書きで右から書くのが基本ですか?

必ずしも縦書きで右からということにこだわらなくてよいです。例えば、主人公を中心に他の登場人物の関係を図でとらえさせて、仲間への思いを深められるような板書が考えられます。



明日からの授業にお役立て下さい!

各学校配布の会報の裏表紙に、指導事例や読み物資料を掲載した「CD-ROM」を付けました。授業参観や現職教育に、ご活用いただける資料もあります。



【部会参加者の声】

- ・ 指導案の検討を親身になって考えてくださって有り難かったです。授業づくりが楽しかったです。
- ・ 読み物資料を基に部員全員で発問や展開を考えることができ、視野が広がりました。
- ・ 効果的な板書や発問の仕方などを学ぶ事ができ、道德の授業を考えることが楽しになりました。

指導・助言



道德研究会顧問校長
東山小学校長
佐藤 佳子先生

失敗しても、結果をきちんと受け止められるドラえもん「のび太」のような子どもを育てていきたいです。道德の授業は少し難しいという声を聞きます。のび太のような子を育てていきたいと思えば、資料や手立てを準備することはそれほど大変なことではないと思います。

年間35時間の授業と朝の会等や教科での道德教育をしっかり行い、迷ったり悩んだりしてつかぬ結果がどのような形であれ、受け入れる子どもを育てていけると思います。

教育委員会 指導室指導主事

橋本 吉太郎先生



授業の中で子どもの「本音」を引き出してほしいと思います。そのためには、教師が子どもに対して、どんな思いをもって授業に取り組むかが大切です。また、「私たちの先生は子どもたちである」との思いを強くもって、授業後も、子どもの姿や声をしっかりと受け止め、次の一歩を踏み出してください。

名古屋の道德教育は、全国的にも、先進的な活動を展開しています。これからの活躍に期待しています。

教育センター指導主事

梶田 勉先生(代読)

授業は子どもとの真剣勝負であり、一緒に創り上げるものであると思います。これは全ての教科等に共通していますが、中でも道德の授業は、互いの心が輝く時間にぴったりだと思えます。紹介された実践を参考に各学校で取り組んでいただき、道德教育の要である道德の時間を子どもたちと一緒に創り上げてほしいと思います。

コラム

心のアンテナ

心輝け なごやの子どもたち

東山小学校長 佐藤 佳子

「道德の教科化に向けて、いったい何をしていけばよいのでしょうか?」と聞かれることが増えてきました。そのような中、文部科学省は2月4日に、道德を「特別の教科」とする学習指導要領の改定案を公表しました。

小学校では30年度、中学校では31年度から教科化され、授業では検定教科書が使われ、学年ごとの教育内容も改訂され、評価も実施されることとなります。それまで、移行期間として先行実施も可能となりますが、当面「私たちの道德」や「明るい心・明るい人生」等を教材として、35時間の道德の時間を要として、全教育活動で取り組むことは変わりません。しかし、準備は必要です。そこで、教科化に向けて各学校が取り組んでほしいことを3点あげます。

- ① 3月末に告示される新学習指導要領の改定内容を理解する。
- ② 問題の解決を考えたり、体験したりする学習を取り入れる。
- ③ 学級の児童生徒の実態や変容を、発達段階を踏まえて把握する力を備える。

教科になった場合、③については評価の問題に関わり重要となります。児童生徒の心の有り様や実践意欲などを評価するのは大変難しいことです。担任がしっかりと実態や変容を把握していないと、プラス面を捉えた励みとなる評価にはならないので、特に力を付けておいてほしいことです。

以下は、学習指導要領改定案の主な内容です。参考にしてください。

学習指導要領改定案の主な内容

- (1) 道德の時間を「特別の教科」として位置付け、検定教科書を導入する。
- (2) 目標を明確で理解しやすいものに改善する。
物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道德的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成
- (3) 道德の内容をより発達段階を踏まえた体系的なものに改善する。
いじめ防止や情報モラル、グローバル人材の育成、生命倫理などの充実
- (4) 多様で効果的な道德教育の指導方法へと改善する。
討論や問題解決的学習、体験学習などの工夫
- (5) 一人一人のよさを伸ばし、成長を促すための記述式の評価を実施する。